

高松市立木太小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

心豊かで、創造性に富み、心身ともにたくましい児童の育成

【本校の課題】

握力・柔軟性・走力・持久力で県平均を下回り、課題が見られる。
日頃運動している児童としていない児童の二極化。

【現状】

休み時間等には元気に外で遊んでいる児童が多い。しかし、休みの日などに外で遊んでいる児童は少ない。また、運動クラブに入っている児童は日頃よく運動しているが、入っていない児童は、学校の体育の時間等に体を動かすだけに終わっている。

【取組み】

水泳

- ①各学年の到達目標を設定し、教科体育で指導する。
- ②めあてを達成した児童には、賞状を渡すなど、学年団で工夫して賞賛する。

鉄棒・なわとび・持久走（マラソン）

- ①実施方法
 - ア 教科体育で重点的に指導し、安全に気をつけて取り組む。
 - イ 教科書あるいはカードを活用し、意欲化を図る。
(全校でさぬきっ子チャレンジシートを活用する。)



クラスマッチ

- ①クラスマッチの種目・方法は学年団で決定し、年間に3回程度実施する。
- ②学年団で称賛し合う。

陸上クラブ

- ② 陸上記録会に向けて、月初めから5・6年生の希望者を対象に練習を行う。
- ②指導を体育部員だけでなく、5・6年以外の先生方にも指導の協力をお願いする。

遊びに夢中になる中での体力づくり

- ①体育委員会が週1回昼休みの時間に遊びを提案し、全校生に呼びかけて実施する。
- ②クラス毎に昼休み体育館を開放し、遊べる時間を設定する。
- ③ドッジボールコートを運動場に常設し、休み時間などに活用できるようにしておく。

【目標】

- (1) 心身の発達や運動能力に応じて、一人ひとりがめあてをもって体力を向上させようとする態度を育てる。
- (2) 友だちと協力したり、励まし合ったり、時には競争や挑戦をしたりしながら、運動をすることで運動に対する楽しさや喜びを味わわせる。
- (3) 活動場所や時間・用具の使い方などのきまりを守って、安全に活動する態度を育てる。
- (4) 新体力テストの50m走において、香川県平均以上を目標とする。